

吉田雅範 議員

ごみ処理施設

「みどり園」について

吉田 ごみ処理施設の今日までの経緯・経過と市民団体からの要望書について説明を求める。

産業環境部長 去る5月31日の環境衛生事務組合の協議会では、組合の名称を含む規約変更案、ごみの量に応じた負担割合、設立計画等が協議されたところであり、分別方法等については今後の課題である。

市長 みどり園移転の見直しを求める要望書に対しては、みどり園の協定書遵守と広域化で進めることのメリットやごみ中継所設置の考えなどを回答したところであり、議員全員と一致団結して取り組んでまいりたい。

吉田 市民目線と言いながら市民を無視し、説明責任もなしに議会軽視で、市長の独断と偏見の何物でもないと申し上げる。

学校給食と通学路の

安全性の確認について

吉田 学校給食に使う冷凍野菜の購入と地産地消の考え及び通学路

の安全対策の取組についての考えをお尋ねする。

教育部長 食材の購入は五條産、国内産、外国産といった基準を毎月示して納入業者を決定し、食の一層の安全に努めている。地場産品を通じた食育や生産者の顔が見える新鮮な食材の購入は大事な観点である。また、通学路の危険箇所については再点検の指示をしており、関係機関との共通理解を図り連携をとってまいりたい。

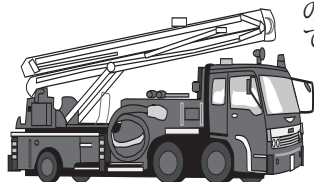
消防庁舎の総合評価

落札方式について

吉田 市内の業者と評価点数のつけ方について説明を願う。

副市長 今回の入札に参加できる業者は、市内の建築A級2者と県内に本店を有する総合評定値950点以上の業者11者で、基準に従い総合評価落札方式のJ・Vとなった。この方式は入札書とともに技術提案をしていただき施工実績等総合的に評価して業者を選定するもので、

決定の際には2人以上の学識経験者の意見を聴かなければならないと定められている。



山田澄雄 議員

陸上自衛隊駐屯地の

誘致について

山田 陸上自衛隊駐屯地誘致については、私自身、国会議員に陳情にも行き、いろいろアドバイスも受けたところであるが、誘致にかかる現在の進捗状況についてお尋ねする。

市長 平成18年当時から要望書を提出しているが、昨年の台風12号災害から南和地域の安全確保及び地域経済の活性化に効果が上がると確信して知事に対し、防衛省に強く働きかけていただくよう要望してきたところであり、昨年12月に県と市の職員による勉強会を発足した。今後、知事と連携を取りながら次の中期防衛力整備計画にのるための要望活動等を議員の力を得ながら進めてまいりたい。

市長の政治姿勢について

山田 御所・田原本環境衛生事務組合に加入することについてお尋ねする。

市長 五條市の将来が懸かっており、協定書の遵守、事業費・維持管理費等の面でメリットがあり組

合に参画するのが一番望ましいと考えて進めてきた。

吉野川の水量について

山田 吉野川の現在の水量についてお尋ねする。

都市整備部長 大滝ダムの放流量の改善について国交省を始め関係機関と調整しながら、吉野川の水量を増やすよう努めてまいりたい。

水道局長 大滝ダム以外の新たな水源手立てとして国営農業用水再編対策事業による安定水利権を確保するため県と協議をしているところである。

平成23年台風12号災害について

山田 大塔地区の山腹崩壊の原因についてお尋ねする。

都市整備部長 台風12号の豪雨は、4日間の総雨量が1,000ミリを超え、山腹崩壊、深層崩壊、河道閉塞等多大な被害が発生した。今後の土砂災害監視対策や警戒・避難システム検討などについて、県において全国初の検討会と土木部砂防課内に深層崩壊対策室が設置されたところである。

